

6月 23-29 日

格言 19 章

154 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 吉田忍 | 有川聖七

神の言葉の宝

1. 兄弟姉妹の真の友になる (10分) 阿部直生

不完全さを見過ごす。 (格 19:11。塔研 23.11 12 ページ 16-17 節)

助けが必要な時に支える。 (格 19:17。塔研 23.07 9-10 ページ 10-11 節)

揺るぎない愛を示す。 (格 19:22。塔研 21.11 9 ページ 6-7 節)



例えみんながきれいに写っている写真を残すように、兄弟姉妹との記憶も良いものだけを残しましょう。

2. 宝石を探し出す (10分) 竹林直毅

格 19:21 人の心にある計画は多いが、エホバの目的(*意図/助言)が実現する。

誰かに助言する時、どんなことをいつも考慮に入れる必要があるか。 (洞-1 1184 ページ 4 節)

エホバは絶対的な意味における知恵の所有者です。だれかに助言してもらう必要がないのはこの方だけです。 (イザ 40:13; ロマ 11:34) み子は、み父から助言を受け、それに従ったゆえに、また神の靈を持っているゆえに、「“くすしい助言者”」として行動し、導きや指導を与えることができになるのです。 (イザ 9:6; 11:2; ヨハ 5:19, 30) これは、助言を有益なものにしたければ、エホバを考慮に入れなければならない、ということを強調するものです。至高者と対立するような忠告には価値がありません。それは決して助言とは言えません。—箴 19:21; 21:30。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 19:4 「富は多くの友を引き付け、貧しい人は友にも見捨てられる。」は富の益を強調しているようだが実は全く逆で、権力や名声や富によって友情を楽しんでいる思っていても、例えば何らかの不正によって名声を失い貧しくなると、その以前の多くの友人たちに見捨てられることを教えてている。それで物質的な根拠ではなく、互いの性質を尊重し、愛し合う、眞の友情を築き、それを大切にしていきたい。

3. 聖書朗読 (4分) 格 19:1-20 (教励 第2課) 田中克彦

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 石原里佳 愛込 2-4 中田由美

(3分) 日常生活で。聖書の特定の教えには触れずに、自分がエホバの証人であることを自然に伝える。 (愛込 レッスン 2 ポイント 4)

5. 再び話し合う 宮城ひかる 愛込 9-4 枝並あや子

(4分) 日常生活で。前回自然が好きだと言った人と会話をする。 (愛込 レッスン 9 ポイント 4)

6. 話 米山英行

(5分) 愛込 付録 A ポイント 10 主題: 神には名前がある。 (教励 第 20 課)

クリスチヤンとして生活する

40 番の歌

7. 会衆の必要 (15分) 水品安章

8. 会衆の聖書研究 (30分) 徹 28 章 1-7 節 長谷川瑛一 朗読: 浮田蒼

閉会の言葉 (3分) | [61 番の歌](#)と祈り 大谷正

^(格 19:1-29) 貧しくても高潔に歩む方が、愚かでうそをつくよりも良い。2 知識がないのは良くない。性急に行動する*なら罪を犯す。3 人は自分の愚かさによって道を誤り、その人の心はエホバに対して激怒する。4 富は多くの友を引き付け、貧しい人は友にも見捨てられる。5 偽りの証言をする人は処罰を免れず、うそばかり言う人は逃れられない。6 多くの人が高貴な*人の好意を得ようとする。誰もが、贈り物をする人の友となる。7 貧しい人は兄弟全員から憎まれる。友人たちにはなおさら避けられる。頼み事をして回るが、誰も応えない。8 分別を身に付ける*人は自分を愛している。識別力を大切にする人は成功する*。9 偽りの証言をする人は処罰を免れず、うそばかり言う人は消えうせる。10 愚かな人がぜいたくに暮らすのはふさわしくない。奴隸が支配者たちを支配するのはなおさらだ。11 洞察力があればすぐに怒ることはない。過ち*を見過ごす*人は美しい。12 王の激しい怒りはライオンのうなり声のようだ、王の好意は草木に降りる露のようだ。13 愚かな子は父親を逆境に立たせ、争いを好む*妻は雨漏りし続ける屋根のようだ。14 家と富は父祖から相続するもので、思慮深い妻はエホバからのものである。15 懶け者は眠ってばかりで、怠惰な人は飢える。16 おきてを守る人は自分の命を守っており、好き勝手な道を行く人は死ぬ。17 立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて*くださる。18 望みがあるうちにあなたの子を懲らしめ、その子を死なせる*ことがないようになよ。19 すぐかっとなる人は罰を受ける。その人を容赦しようとするなら、何度もそうしなければならなくなる。20 助言を聞き、指導を受け入れよ。将来、賢くなるためである。21 人の